

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 資金の範囲について

資金の範囲は、現金・預金・売掛金・未収入金・前払金及び未払金等短期債権・債務を含めることとしている。

2 基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高
貸 付 信 託	8,500,000			8,500,000
定 期 預 金	13,800,000			13,800,000
合 計	22,300,000	0	0	22,300,000

3 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金 預 金	3,641,529	3,886,856
未 収 金		
合 計	3,641,529	3,886,856
未 払 金		
預 り 金	199,220	160,010
合 計	199,220	160,010
次期繰越 収支差額	3,442,309	3,726,846

4 次期より一般会計と事業会計の区分せず、ひとつの会計単位として 経理するものとする。